

公表

放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

○事業所名	ナーシングセンターらいむの丘		
○保護者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月27日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)
○従業者評価実施期間	2025年2月1日		2025年2月27日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3	(回答者数) 3
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月25日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	複合施設内にあることにより、他事業所との交流やいろいろな人に接する機会が多い。	他事業所の職員と接する機会を増やすことで、興味関心を広げ、子どもたち自ら周囲の人たちと関わっていける力を付けられるようにしている。	交流の幅が敷地内に限られているので、今後は地域や同種の事業所との交流の場を作っていく。
2	多職種が連携をとって支援を行っている。	専門職(介護士、看護師、理学療法士、保育士)が各々の専門知識から適切な支援を提案し合いながら行っている。	職場内だけではなく、施設内の他の部署とも連携し合いながら、多角的に支援についての考察が深められるようにしていく。
3	自主的に職場内での定期的な研修、支援のための話し合いができています。	・毎日の振り返りや情報共有の徹底、職員間で相談しやすい環境ができています。 ・看護師による衛生管理、健康管理などの定期的な見直しや研修などを行っている。	他事業所との情報交換や研修会の開催、参加をすることで、日常的な連携体制をつくれるようにする。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	連絡体制などの発信能力が低い。	・情報を発信するツールを活用できていない。 ・保護者への支援プログラムや参加できる研修の情報が収集できていない。	・HPやSNS等の活用をしていく。 ・積極的に情報の収集を行い、情報提供できる方法を確立する。
2	放課後デイサービスの時間内での避難訓練ができていない。	長期休みなどの利用時は生活介護の利用者様と一緒に訓練可能な時もあるが、放課後の時間は入浴に時間と職員がかかることもあり訓練が難しい。	計画に沿った避難訓練を行う。
3	活動の幅が狭い。	保護者、利用者一番のニーズが入浴なので、残りの時間でできる活動が限られてきてしまう。	・入浴時間の分散化を検討していく。 ・短時間でも取り組めるような活動プログラムから少しずつ実践していけるように用意していく。